

## 第2版の序

2018年に羊土社のPT・OTビジュアルテキスト専門基礎シリーズとして本書第1版が刊行されて以降、5年の月日が過ぎた。言うまでもなく、その歳月の間に理学療法士・作業療法士の学びの在り方は大きく変化し、それに伴うアップデートとして第2版を執筆するに至った。

今回の改訂に際して最も念頭に置いたのは、令和6年から採用される約8年ぶりの国家試験出題基準の改定である。専門分野・専門基礎分野の新出題基準を踏まえ、改定後の国家試験範囲を網羅する内容になるよう加筆を行った。また、近年の国家試験出題傾向も踏まえたうえで掲載すべき用語、その表現の在り方を精査し、修正を実施している。特に出題率が増加傾向にある体表から骨格筋の位置や構造を問う設問については、被験者にそれを投影し、初学者でも視覚的に理解ができるよう配慮をした。2022年4月より改訂となった「関節可動域表示ならびに測定法」についてもこれまでの記載を一新し、関節や筋の運動の項目にもそれに伴う修正をしている。さらに、各章の最後には直近の国家試験出題事例を掲載し、具体的に設問を解くために必要な考え方も学ぶことができるよう心がけた。

本改訂は本文だけではなく、図譜についても多くの追加と修正を実施している。理学療法士・作業療法士は他の医療職と比較し、運動器系の知識がより深く求められる。その点を踏まえ、個々の筋の形態やその作用を理解するための図を多数追加した。また、第1版で掲載した図譜についても近年の研究報告を踏まえ、より実際の構造を理解しやすくするための修正を行った。これらの改訂は卒前教育のみならず、卒後の臨床の一助にも十分になると確信している。

数年間続いた人同士の交流の制約も落ち着き、最近では若い理学療法士・作業療法士から「在学中にPT・OTビジュアルテキストの解剖学で基礎を学びました」と声をかけられることが多くなってきた。また、現職の柔道整復師・鍼灸師の方々からも卒後学習に活用しているとのことのお言葉をいただき、著者冥利というものを改めて感じている。今回の第2版がより多くの方々に届き、学びの礎になることを心から願う。

2023年10月

町田志樹